

令和7年3月31日
さぎそう学舎
世田谷区立九品仏小学校
校長 笛木 毅

自己評価報告書

自己評価は、学校評価の基本となるものであり、校長のリーダーシップの下、全教職員が参加し、設定した重点目標や具体的計画等に照らして、その達成状況や達成に向けた取組の適切さ等について評価を行うものです。自己評価は、学校において組織的に取り組むことが大切であり、そのためには必要に応じて校内に評価委員会などを設置したり、教務部会等で組織的に取り組んだりすることなども考えられます。

なお、各学校では、学校評価システムについて、学校改善を図るための有効な手段とするために、年度末を待たず、日常的に学校改善を図るためのPDCAサイクルを実行する必要があります。評価項目（取組）とそれを評価する材料としての評価関連

資料を明確に位置付け、資料等の分析から、改善のための方策を実行します。学校は、それぞれのPDCAサイクルの実施状況について、適宜学校運営委員会や学校関係者評価委員会に報告するとともに、地域・保護者に情報発信を行います。

【重点目標について】

教育を進めていく教職員がしっかりと重点目標を理解し、教育活動を進めていくために、今年度は教員の自己申告（年に3回の管理職との面談）の際に全員「重点目標」を達成するための具体的な方策を確認いたしました。

校長は、学校だよりで保護者地域に重点目標を発信し、職員会議等でも学校経営方針をこまめに教職員に伝えてきました。その成果が今年度の学校関係者評価の結果にも結びついていると考えます。次年度も、引き続き学校経営方針を理解した組織的な教育活動を行っていく所存でございます